

# 2008年度 環境活動レポート

## 目 次

会 社 概 要 . . . . .	2
環 境 管 理 体 制 . . . . .	3
役割、責任および権限 . . . . .	4
環 境 方 針 . . . . .	5
環境目標および実績 . . . . .	6
環境活動の取組み結果とその評価 . . . . .	7
環境活動および環境活動計画 . . . . .	8
環境関連法規への違反、訴訟等の有無 . . . . .	9

オリイメック株式会社

## 会社概要

### 《認証登録事業所》

社 名： オリイメック株式会社本社

代 表 者： 代表取締役社長 杉本 誠夫

所 在 地： 〒259-1198 神奈川県伊勢原市鈴川6

環境管理責任者： 取締役常務執行役員管理本部長 高島 一  
(連絡担当者) 管理本部総務部次長 阿部有恒 TEL 0463-93-0811(代)

事 業 内 容： プレス加工自動化装置、物流自動化装置の製造および販売

従 業 員： 193名(平成20年 12月現在)

出 荷 高： 459,812万円(平成20年度)

工場規模： 本 社 敷地6,600㎡ 建屋6,570㎡  
本社(第2工場)所在地：神奈川県伊勢原市鈴川43(オリイテクノ株式会社含む)  
敷地3,131㎡ 建屋1,824㎡

### 《オリイメック株式会社(全体)》

社 名： オリイメック株式会社

代 表 者： 代表取締役会長 武田 節 彌  
代表取締役社長 杉本 誠夫

創 立： 昭和37年7月

資 本 金： 14億9,125万円

事 業 内 容： プレス加工自動化装置、精密ばね成形機、物流自動化装置ほかの製造および販売

従 業 員： 291名(平成20年 12月現在)

本 社： 〒259-1198 神奈川県伊勢原市鈴川6 TEL 0463-93-0811(代)

川口事業所： 〒333-0845 埼玉県川口市上青木西1-17-24 TEL 048-256-3511(代)

営 業 所： 郡山営業所 太田営業所 埼玉営業所 諏訪営業所 新潟出張所 神奈川営業所  
浜松営業所 豊田営業所 名古屋営業所  
大阪営業所 岡山出張所 福岡営業所 広島出張所

グループ子会社： [製造]

オリイ精機株式会社(鳥取県鳥取市)

オリイテクノ株式会社(神奈川県伊勢原市)

広州欧立机电有限公司(中国広東省広州市)

[販売]

Oriimec Corporation of America (アメリカ・ケンタッキー州)

Oriimec Corporation of Singapore Pte.Ltd. (シンガポール)

Oriimec (Thailand) Co.,Ltd. (タイ)

欧立美克香港有限公司(香港)

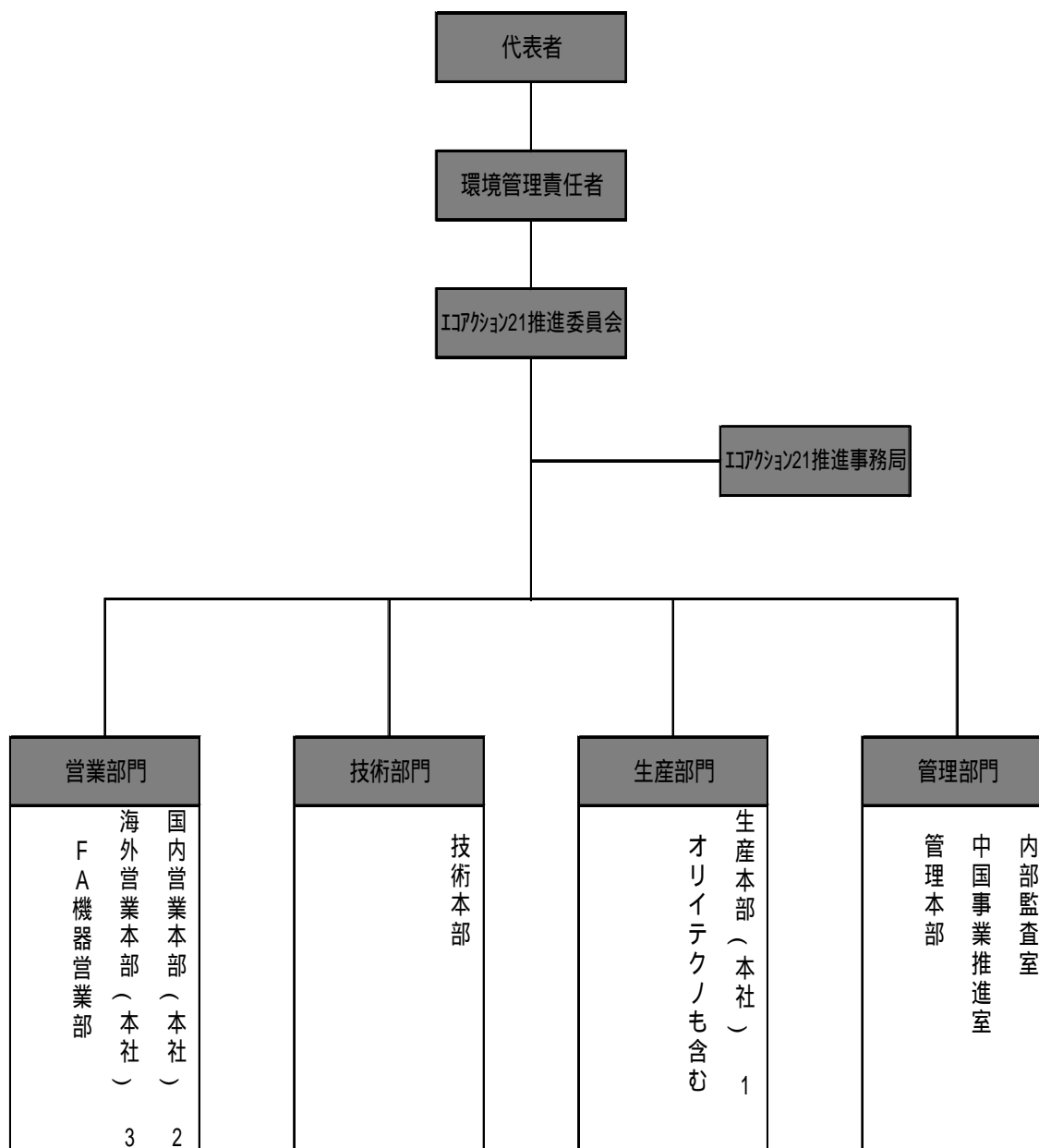
欧立美克(上海)貿易有限公司(中国上海)

欧立美克(上海)貿易有限公司東莞分公司(中国広東省東莞市)

親 会 社： 株式会社名村造船所(大阪市西区/大阪証券取引所一部上場)

# 環境管理体制

## エコアクション21（環境経営システム）推進組織



1生産本部のうち、オリイ精機、OCGは含まない

2国内営業本部のうち、東日本営業部（神奈川営業所除く）、中部営業部、西日本営業部は本社に含まない

3海外営業本部のうち、OCA、OCS、OCT、OCH、OCSHは含まない

2007. 5.14 制定

2008. 1. 1 改定

2008. 7. 1 改定

## 役割、責任および権限

責任者	役割、責任および権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針を発行する</li> <li>・環境マネジメントシステムの見直し</li> <li>・環境マネジメントシステム運用のための人的資源および専門的技術、技術並びに資金の確保を行う</li> <li>・環境マネジメントプログラムの承認をする</li> <li>・環境目標の承認をする</li> <li>・緊急事態発生時の統括者として総指揮をする</li> <li>・不適合および是正の計画内容の承認をする</li> <li>・環境管理責任者を任命する</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムの確立、実施、維持をする</li> <li>・法規制登録に関する承認および社長への報告をする</li> <li>・環境マネジメントプログラムの推進と社長への報告をする</li> <li>・社内外の環境管理に関する情報を統括する</li> <li>・緊急事態における対応・対策訓練実施の指示をする</li> <li>・環境マネジメントプログラムの見直しをする</li> <li>・不適合および是正並びに予防措置の計画内容の実施の指示をする</li> <li>・環境マネジメントシステムの運用状況を社長に報告する</li> <li>・緊急事態発生時の統括者代理として指揮する</li> <li>・環境管理に関する教育、訓練計画を承認する</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部門内の運用、監視、測定、環境関連情報、是正処置における統括をする</li> </ul>
エコアクション2.1推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムの構築、実行推進ならびに運営全般の審議、方針を決定する</li> </ul>
エコアクション2.1推進委員会事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部や行政機関からの問い合わせに対する窓口</li> <li>・各種資料の作成、文書の保管</li> <li>・社内からの情報収集、情報提供</li> </ul>

### 《基本理念》

オリメック株式会社本社は、主としてプレス加工自動化装置、物流自動化装置の製造、販売を行うにあたり、環境に関する法規制を遵守し、また自社内の環境負荷低減に継続的に取り組み、環境保全に配慮した企業活動を行うことで社会へ貢献し、この美しい伊勢原の環境を未来へ引き継いでいきます。

### 《行動指針》

- 1．自社内での環境負荷を把握し、その負荷低減を進めます。
- 2．環境に関連する法規制、条例を遵守します。
- 3．省エネルギー、リサイクル活動に積極的に取り組みます。
- 4．全社員へ環境保全の啓蒙活動を行い、意識向上を図ります。
- 5．この環境方針は、全社員への周知徹底を図ると共に、外部からの要求に応じていつでも公開します。

2007年 5月14日制定

 **オリメック株式会社**

代表取締役社長 杉本誠夫

## 2008 年環境目標および実績

### 環境活動実績

2008 年 1 月から 12 月の活動結果は次のとおりである。

### 2008 オリイメック環境活動進捗管理表(2008年12月迄)

環境目標			2007年度	2008目標値	1月～12月 累計	2008 目標達成率
			基準値	1%減		
1	二酸化炭素排出量	kg-Co2	547,152	541,680	497,283	108.93%
	購入電力量	kwh	1,182,132	1,170,311	1,117,998	104.68%
	ガソリン	L	16,099	15,938	20,426.64	78.03%
	軽油	L	2,563	2,537	2,239.95	113.26%
	LPG	kg	260	257	335.1	76.69%
2	灯油	L	4,370	4,326	3,502.0	123.53%
2	廃棄物等総排出量	t	66	65	66.4	97.89%
3	総排水量(水の消費)	m <sup>3</sup>	1,786	1,768	1762	100.34%
4	循環型社会形成のための社会貢献		実施率100%		1/30、2/29、3/28、4/30、5/30、 6/27、7/30、8/29、10/8、10/30、 12/3、12/30にクリーンアップボランティア デーによる工業団地内歩道清掃の実 施。 6/1河川クリーン作戦、11/9大山クリ ンキャンペーンに参加(実施率100%)	

二酸化炭素排出量としては、1%削減の目標達成となったが、その算出の元となるエネルギーの使用においてガソリンおよびLPGが目標の1%削減を達成することができなかった。

また、廃棄物等総排出量においても目標値を達成することができなかった。

これらにおいては、目標の基準値設定にあたり半年間のデータ把握の後、年換算して決定した基準であり、時期的変動分の見越しができなかったこと、当活動を通して意識の高まりとともに収集するデータの精度が高まってきたことで、実績が目標を上回る要因となっていることが大きいと考えられ、2008年の実績をもって2009年度目標を設定し、再度削減活動に取り組む。

また、その他の項目については、当活動の浸透と意識の高まりにより、特に節電において効果があったと考えられ、その実績を基準値に更に1%の削減活動に取り組む。

## 2008年環境活動の取組み結果とその評価

環境活動へのインプット、アウトプットに関する項目	チェック結果の点数		満点の場合の点数		実施度合(%)	
	活動前 '08年 4月	活動後 '08年 12月	活動前 '08年 4月	活動後 '08年 12月	活動前 '08年 4月	活動後 '08年 12月
省エネルギー、新エネルギー使用の拡大	7	8	18	18	38.9	44.4
省資源、グリーン購入	6	7	22	22	27.3	31.8
節水、水の効率利用	5	6	8	8	62.5	75.0
二酸化炭素の排出抑制、大気汚染の防止	21	22	26	26	80.8	84.6
化学物質の管理の徹底	13	14	16	16	81.3	87.5
製品設計に当たっての環境配慮	20	21	36	36	55.6	58.3
廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	47	51	72	72	65.3	70.8
輸送に伴う環境負荷の低減	18	18	26	26	69.2	69.2
建築物の建設、解体などの環境配慮	3	3	4	4	75.0	75.0
環境保全のための仕組み、体制の整備	59	61	82	82	72.0	74.4
環境教育、環境保全活動の推奨等	7	10	24	24	29.2	41.7
情報提供、社会貢献、地域の環境保全	5	6	20	20	25.0	30.0
合 計	211	227	354	354	59.6	64.1

活動から一年が経過し、全体的に取り組みの実施度は伸びてきている。

ただし、各項目の実施度合いが50%に達する項目に変化がないため、引き続き留意して取組みに努める。

「情報提供、社会貢献、地域の環境保全」での実施度合いが他の項目より顕著に低いため、今年度の取り組み課題とする。

### << 推進活動 >>

- 1月 昨年より引き続きデータ収集を行いながらも、新たなデータ収集方法導入の準備を行った。
- 2月 新たなデータ収集方法導入の準備を行い、3月から実施のための周知、説明会を行った。
- 3月 データ把握については電力使用量等各部門において新たな方法にて3月より実施した。  
電力、ガソリン、軽油等各部門でも削減のための施策を考え実施を始めた。  
エコドライブの推進を行った。各車両に「エコドライブ10のすすめ」を掲示。  
各部門においてゴミの分別パトロールの結果をもってゴミの分別教育を行なった。  
エコキャップ運動活動実績 (エコキャップ4、200個 ワクチン5.3人分)

### << 環境教育訓練 >>

- \* 12月11日(木) コンサルタントを招き事務所全社員対象に環境教育についての講義を実施。  
124名
- \* 12月19日(金) 廃棄物置場における廃油流出処理訓練を実施。45名
- \* 推進活動ゴミ分別実施の定着及び分別教育のため、月1度 各部門においてゴミの分別パトロールを実施。

### << 地域・社会貢献 >>

- \* 1月から毎月クリーンアップボランティアデーと称し、以下の日程で近隣の歩道清掃を実施した。

1月度	1月30日(水)	4月度	4月30日(水)	7月度	7月30日(水)	10月度	10月30日(木)
2月度	2月29日(金)	5月度	5月30日(金)	8月度	8月29日(金)	11月度	12月3日(水)雨天順延のため
3月度	3月28日(金)	6月度	6月27日(金)	9月度	10月8日(水)雨天順延のため	12月度	12月25日(木)

- \* 例年、伊勢原市の主催する次の環境保全活動に参加しており、今年度も継続して参加した。  
2008年 6月1日(日) 河川クリーン作戦(渋田川 道灌橋から上流、下流に1km)  
2008年 11月9日(日) 大山クリーンキャンペーン(下社~見晴台~大山ケーブル駅)

# 2009年環境目標および環境活動計画

取組項目	環境目標	施策	主管部署	対象部署	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	1) 二酸化炭素排出量の削減 (1~2月累計実績 26%減)	目標値 492,310kg CO2 基準値 497,283kg CO2 1%削減														
	2) 電気使用量削減 (1~2月累計実績 22%減)	目標値 1,106,818kwh 基準値 1,117,988kwh 1%削減	総務部	全部層												
	3) 燃費使用量の削減	ガソリン 目標値 20,222L 基準値 20,427L 1%削減 軽油 目標値 2,218L 基準値 2,240L 1%削減 灯油 目標値 3,467L 基準値 3,502L 1%削減	総務部	全部層												
2	総排水量の削減 (1~2月累計実績 12%減)	目標値 174m3 基準値 1,762m3 1%削減	総務部	全部層												
3	廃棄物排出量の削減 (1~2月累計実績 32%減)	目標値 65t 基準値 66t 1%削減	製造部 生産管理部 総務部	全部層												
4	循環型社会形成のための社会貢献	実施率 10.0%	総務部	全部層												
5	日本郵政機械工業会 エコプロダクトによる エコマシンの開発	2機種	総務部	技術部												
6	エコアクション2.1の推進	川口事業所認証登録スケジュール作成	総務部	川口事業所												

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

自主的に遵守状況をチェックした結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間受けておりません。また訴訟等もありません。